

榛原支部消防操法大会

伝統の火消し魂



榛原支部消防操法大会が11月16日、吉田町の大井川清流緑地高島スポーツ広場で開催された。牧之原市、吉田町、川根本町からポンプ車と小型ポンプの2隊ずつが出場し、スピードや動作の正確さ、規律などを競った。川根本町消防団は全力を尽くしたが、両部門とも牧之原市消防団が優勝した。

ポンプ車操法(第2分団)

出場隊員: 指揮者・中村慎、1番員・中村直人、2番員・坂本皓平、3番員・梶山藤登、4番員・井澤誠人、補助員・久保敏行



小型ポンプ操法(第5分団)

出場隊員: 指揮者・澤田裕喜、1番員・柿下洋介、2番員・林雅規、3番員・小田康樹、補助員・相藤裕次





“食セレ”認定は スタートライン



川根本町ゆずが ふじのくに食の都の“とっておき”に仲間入り

組合員悲願の認定

「この土地に適した農産物が必ずあると信じ、30年も前から先輩方がユズの生産に取り組んできた結果が実った。今回の認定がスタートライン。東京五輪や海外への輸出も視野に入れ、組合員一丸となり頑張っていきたい」と報告会で宣言した浜谷隆康組合長。12月4日、認定を喜ぶ8人の組合員が役場を訪れました。鈴木町長は「今回の認定を機に地場産業の活性化のため、行政と一体になって盛り上げていきたいと思います」と組合員を激励しました。

とっておきの逸品

11月27日、静岡市で川勝県知事から「しずおか食セレクション」の認定証が手渡されました。「しずおか食セレクション」とは、静岡県の多彩で高品質な農林水産物の中から、全国や海外に誇りうる価値や特長を備えた商品を認定する県の制度です。これまでの95商品に加え、平成26年度は新たに14商品が認定されました。本町としては平成22年度認定の天空の茶産地「川根光」に続く2商品目の認定です。



▲しずおか食セレクション認定式



▲ゆず加工品等にも取り組む



▲川根本町ゆず組合の皆さんと町長、副町長